

高専 八戸高専だより

独立行政法人 国立高等専門学校機構

八戸工業高等専門学校 発行

〒039-1192 青森県八戸市田面木字上野平16番地 1

TEL 0178-27-7223 (総務係)

FAX 0178-27-9379

E-mail somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

URL <https://www.hachinohe-ct.ac.jp/>

第166号 令和6年8月



男女共に団体優勝し全国大会に出場する卓球部

目次

| | | | |
|--------------|----|-----------------------|----|
| えんぶりに思う | 1 | 国際交流・グローバルエンジニア育成に向けて | 15 |
| 3主事から | 2 | ダイバーシティ推進委員会から | 16 |
| 新入生紹介 | 3 | 図書館の今年度の予定 | 16 |
| 1学年主任から | 7 | キャリア教育・学習支援センターから | 17 |
| 授業参観日を終えて | 7 | 学生表彰 | 19 |
| 専攻科新入生紹介 | 8 | 東北地区高等専門学校体育大会結果一覧 | 20 |
| 今年の編入生・留学生紹介 | 9 | 「保護者の声」設置について | 22 |
| 新任教職員紹介 | 11 | 授業料等の納付について | 22 |
| 北辰寮から | 13 | 授業料の支援・減免制度について | 22 |
| 相談室より | 14 | 令和6年度 公開講座 | 22 |

えんぶりに思う



八戸工業高等専門学校長

土屋 範 芳

八戸工業高等専門学校の校長に着任し、一年が経ちました。北東北を代表する工業都市である八戸を理解すべく、臨海地域に展開されているいわゆる重厚長大産業の工場群、そして八戸北インター周辺域の工業団地に進出している企業群等を、時間を見つけできるだけ視察・見学いたしました。一言でいうと、八戸の持つポテンシャルにはすばらしいものがあること、工業都市として非常にすそ野の広い分野をカバーしていること、そしてインフラなど産業を支える基盤設備がそろっていることなど広く知ることができました。一方で、八戸のもともとの基幹産業は海外との厳しい競争にさらされていること、若者の流出が続く一方で、人材不足が深刻なことなどの問題点にも気づくことができました。八戸市が企業誘致のために作ったパンフレットには、八戸は「交通の便がいいこと」、「雪が意外と少ないこと」、「好天の比率が高いこと」などが挙げられていました。それなりの地の利があるし、工業に対するポテンシャルも高いし、八戸の魅力はいっぱいあるのに、なぜかいま一歩抜け出せない、八戸あるある感もなんとなく理解できるようになってきました。

さて、2月に「えんぶり」を観ました。東北地方に長く住んでいながら、恥ずかしながらえんぶりのことは知りませんでした。青森といえば、ねぶた、ねぶたで、それ以外のお祭りに関する知識は極めて乏しいのが実情です。岩手の蘇民祭のようなきわめてユニークな伝統行事はときどき報道されますが、このえんぶりは、それなりの規模でありながら、いまいち知名度にかけています。そしてこのお祭りは、観光客誘致のためのいわゆる観光資源としてのお祭りではなく、地域、地元、そこに住む人たちのための祝い事であることがわかりました。お祭り＝人集め＝観光資源というステレオタイプ的な発想ではなく、このお祭りは、地域のためのお祭りが主眼で、それを少し外向きにアレンジしているのだということが理解できました。

いま、情報発信力の強化がさまざまな分野で求

められています。広く、うまく、情報を発信することで、新たな展開が進んでいくことは間違いないでしょう。しかし、そのことによって失われていくものもあります。お祭りにしてもそうです。一定の期間、一定の質で、それなりに見栄えがして、人を引き付ける、そういうお祭りパフォーマンスを企画・実行するためには、それなりの準備と資金が必要です。そしてきっと何か大切なことが忘れられていく。なんとなくそれって、20世紀の大量生産、大量消費の考えに通じるものがあります。いいものを、安く、大量に多くの人に提供する。それはいいことだという大前提のもと、社会は変わってきました。人類というか、日本はそういうシステムを効率よく作り上げ、一定の成功を収めてきました。しかし、いま何か閉塞感があります。そもそも地球自身がそういったシステムを支えるだけの力を持てなくなりました。人々はなにか違った、もしくは古（いにしえ）を理解して、しかし新しい価値観を見出そうとしているのではないのでしょうか。もっと、もっと、more and moreから、十分にあるから、もっと心安らぐ何かがほしい、enough and sufficient。工学や工業にも新たな価値観の創出が必要な時代になってきたのではと、えんぶりを観ながら思いました。えんぶりは観るものではなく、参加すること、それも自らの娯楽のためでなく、地域のため、人々のために参加する、今までとは異なる価値観が求められている感じがしました。一点ものではなく、その間に何か新しい方向性があるような気がします。

新しい産業、質の高い工業をしっかりと支える人材を養成しつつ、次の社会を創造していく。高専に期待されることは大きいと思います。八戸高専は昨年、創立60周年、つまり還暦を迎えました。次の一步を、校訓である「誠実・進取・協調」を胸に刻んで、社会に貢献する高等教育機関であり続けたいと考えています。

引き続き、皆様方からのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

3 主事から

教務関係のご連絡

教務主事

馬 淵 雅 生

昨年度に引き続き、教務主事を命じられております馬淵と申します。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。新型コロナが収束し、今年度は最初から平常時の体制で授業や課外活動ができております。学生のみなさんには、コロナ禍ではできなかったことを存分にやって欲しいと思います。

今年度から1・2時間目の開始を8時45分としておりましたが、昨年度までのように8時50分開始とする方が授業準備や教室移動などのためには都合がよいことがわかり、そのように変更しました。年度途中の授業時間変更でご迷惑をおかけしましたが、どうかご容赦ください。

4月29日に実施した授業参観には多数の方々に参観していただき、貴重なご意見をいただきました。ご意見を真摯に受け止め、授業改善に役立てて参ります。

スタートアップ事業によって、記念会館を改修してイノベーションハブができ、教育研究支援センター室を改修してリサーチハブができております。これらは、学生のアントレプレナーシップ育成のために作られた施設であり、自主探究を始め、ミーティングやイベントなどで学生や教職員が有効に活用できるよう、準備を進めています。

夏学期が終われば夏休みとなります。低学年の学生は実験や観察を行い、高学年の学生は論文を読み、自主探究を進めて欲しいと思います。

厚生補導関係のお知らせ

学生主事

菊 地 康 昭

今年度も引き続き学生主事を務めることになりました。よろしくお願い申し上げます。保護者の皆様におかれましては日頃からの学生教育へのご理解、ご支援を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、今年度の実践目標は、「(1)自己実現、(2)自己責任、(3)他者理解」です。(1)では、夢や目標を持つだけでなく、どのように実現するか道筋を考え計画的に実行する力を身に付けることを求めています。(2)では、社会生活でも学校生活でも、自分の「言動」は自分の責任になるという自覚を持つことを求めています。特に、XやInstagram等のSNSへ投稿する前に、他者を傷

つけていないか想像することが重要です。(3)では、自分と異なる意見を持っている人や異なる環境で育ってきた人の立場に立って想像して理解することを求めています。このためにはコミュニケーション能力が重要となりますが、この能力を構成する要素には「伝える力」、「聴く力」、「読み解く力」があります。コミュニケーションはピンポンのようなもので、一方的に話すだけ、聴くだけでは成り立ちません。お互いに話す、聴く、そして態度や動作から読み解く、という要素をバランスよく取り入れて会話して頂きたいです。

学生の皆さんには、勉強や課外活動などの色々な活動を通じて実りある学生生活を送って頂きたいので、保護者に置かれましてもご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

寮からのお知らせとお願い

寮務主事

佐 藤 久 美 子

今年度、寮務主事となりました佐藤です。どうぞよろしくお願い申し上げます。日頃より保護者の皆様には、寮の運営等にご協力いただき、大変ありがとうございます。この春は、新型コロナウイルス感染症およびインフルエンザの流行が収まって、落ち着いた寮生活を寮生が送れていることから、寮関係者一同、安心して嬉しく思っております。

新しい混住型国際寮C棟(仮名称)は、今年度末に建物が完成する予定です。今年の4月初めには、更地となった建設予定地に杭打ち作業を行っていたのですが、現在(6月中旬時点)、着々と工事が進行し、建物の基礎部分が出来上がっていく様子を毎日見ることができます。完成すれば、人気の高い国際寮の入居者数を増やすことができますので、皆様に喜んでいただけるものと思います。

新1年生など、本年度から入寮した寮生は特に、最初は慣れない共同生活で戸惑うことも多いようですが、徐々に自分のペースをつかみ、周りを見る余裕が出て来るとともに、現在は落ち着いて生活できてきているようです。寮生たちには寮での生活を通じて、集団生活でのルール順守の大切さを学び、また、寮内の様々な活動に積極的に参加して自分を磨くなど、いずれ社会に出るときのための準備をしてほしいと願っています。

保護者の皆様には、今後も引き続きご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

新入生紹介 L1

期待しかない

L1担任 馬場 秋雄

2024年、令和6年もあっという間に半分が過ぎました。個人的には、米大リーグの大谷翔平選手や将棋の藤井聡太棋士の目覚ましい活躍を目の当たりにして、衝撃やら感動を覚えている今日この頃です。

こういった歴史的な瞬間に立ち会えるのも、この時代に生きている証かと思えば「人生も思うほど悪くない♪・・・」といったフレーズがどこからか聞こえてきそうです。

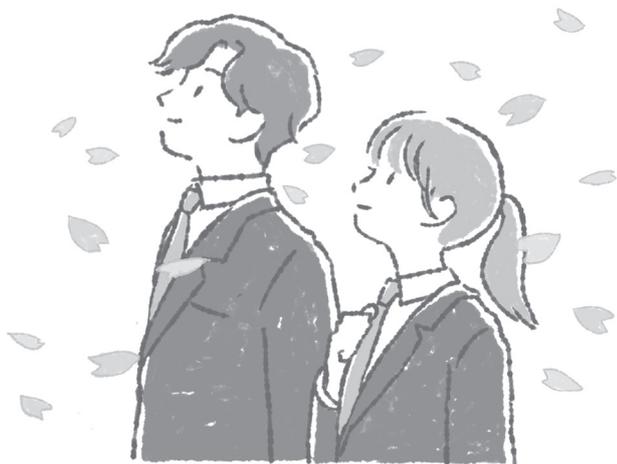
今年度は久しぶりに、1年生の担任になりました。入学式の緊張した面持ちだった学生もだいぶ学校に慣れてきて、初めての試験も不安ながら経験したところです。これからが、本格的な高専生活のスタートといったところでしょうか。

まずは、高専での勉強をしっかりとやりたいところですが、それ以前に健康的な生活を送ることが重要です。しっかりと、体を鍛えて将来の土台作りをしてくれたらと思います。

今後は、少子化も進み定年延長・廃止も含めて、一生勉強は続いていくものと思われれます。目先の試験の点数や順位だけにとらわれずに余裕をもって勉強してもらいたい。燃え尽きてはならないように、車のハンドルにおける「遊び」を持って、とは学生に言いました。

この先、野球、将棋の世界において、さらに記録が塗り替えられるのか、社会情勢は、気候変動は、と想像は限りなく広がって行きます。

しかし、確実に言えることは、L1の学生たちは、これからの時代を作っていく主役となっていくことです。それぞれの道において、元気で充実した人生を送っていただけることを願っています。



新生活とこれから

機械・医工学コース1年

長久保 佑夕貴

(東北町立東北中学校出身)

入学から早くも2ヶ月が経ちました。入学後、初めての授業や寮生活を楽しむに反面、不安な気持ちもありました。そのため、楽しい生活とは離れていました。しかし、1人1人話す友達も増えていき、学校や寮生活も楽しいと思えるようになりました。最近では、とても楽しく過ごせているため、八戸高専に入学できてよかったなと感じています。しかし、楽しいことばかりではなく勉強もしっかりと取り組まなければなりません。正直に言うと、私は1人で勉強をすることがつまらないと思っているため好きではありません。ですが、友達と教えあったり、わからないことを1つずつでもできるようにすることは楽しいと感じると共に確実に自信に繋がっていると思います。更に、これから自主探究が始まります。勿論、不安や悩みもありますが、FHの先輩方や友達などとも繋がるチャンスだと思うのでコミュニケーションをとり、たくさんのことを得られる時間にしていきたいと思っています。まだまだ始まったばかりですが毎日楽しく、意味のある生活にしていきたいです。



刺激ある毎日を大切に

マテリアル・バイオ工学コース1年

木村 斗優

(八戸市立市川中学校出身)

春入学するまで90分授業ということを知り、楽しみであるとともにとても不安でした。しかし、実際に入学すると早くはありましたが、先生方が丁寧に教えてくださるおかげで理解できないということはありません。わからなかったところがあっても授業の後、質問に行くとわかるまで教えてくださるので勉強が全く分からないということはありませんでした。

また、高専でなければ会えなかったと思う個性豊かな多くの友人と出会うことができました。みんなそれぞれの考えを持っていて、一つの事柄に対して複数の意見を聞くことができ、常に周囲から刺激を受けています。今までの自分では思いつかなかったような意見を考えられるようになりました。

一日一日を大切に、友人たちとお互いに刺激を与えあって、しっかりと学校生活を送っていききたいと思っています。

新入生紹介 L2

君たちはどう生きるか —主体的に、そして、共に高めあい—

L2担任 齋 麻子

どんな中学校生活を送ってきたのでしょうか？高専の近隣の大規模な中学から入学してきた通学生、津軽や下北など遠方から親元を離れ入学してきた寮生、私立の中学校から入学してきた学生、小規模校から入学してきた学生などなど、多様な出自の学生たちで構成されているL2クラス。クラスの多くの学生たちにとっては、初めて「これまでとは異なる環境」に身を置いた2か月間だったと想像します。新たな生活が楽しみだったり、不安だったり、いろいろな感情が入り乱れた新生活だったのではないかと思います。

緊張で様子見をしながら、恐る恐る一步を踏み出そうとしている人と、貪欲に楽しもうと活動している人と、二極化しつつも、新生活に馴染もうと努力している姿が見られます。

高専の5年間は始まったばかりです。これからどのように高専生活を送っていくかは、個々の行動に任されています。「どう生きるか」「どう自分の未来を切り拓いていくか」大いに模索してほしいと思います。サポートしますが、答えは自分で見つけてください。まずは自分の頭で考えて行動してみよう。

国語の教員として、高学年生、専攻科生の進路のお手伝いを文章指導という形でかわり続けています。卒業を目前にした彼らを見てみると、高専生活を「自分の頭で考え」主体的に行動してきた人たちが、そして、クラスメイト達と「充実した学生生活を目指して」共に高めあってきた人たちは、とても「いい顔つき」になっていて、自らの将来をしっかりと見据えていることがわかります。新入生たちにもぜひ、とても「いい顔つき」の先輩のように成長してほしいと願っています。

学校行事や日々の細々としたことを「面倒」と敬遠せず、「どうせなら楽しんでやろう！」の気持ちで前向きに学校生活を楽しんでほしいと願っています。

1年生の担任としても、国語の教員としても、どの学年であろうとも、みんなを応援しています。共に高めあって、楽しく生きていきましょう。

入学してからを振り返って

電気情報工学コース1年

丸 山 海虹夏

(八戸工業大学第二高等学校附属中学校出身)

入学してから2か月が経ち、学校生活や寮生活にもだんだん慣れてきました。

入学してすぐの頃は、90分授業や専門の授業があるなど、中学の時とは全く違う授業のスタイルについていくのがとても大変でした。日々の提出物も平常点に含まれるので、宿題のレポートなども忘れずに終わらせる必要があります。普段からやるべきことを確認しながら生活していかなければならなくなりましたが、友達と協力し合いながら取り組むことができていると思います。

寮生活では、わからないことがあったら、ユニットの先輩が優しく教えてくれるので、楽しく生活できています。春学期の到達度試験週間の時は、寮の友達と集中して勉強することができました。寮生活を通じて、自立できていると感じています。

高専での生活はまだ始まったばかりなので、これからも課題をしっかりとやって単位を落とさないように頑張りながら学校生活を楽しんでいきたいです。



気持ちの情態変化

マテリアル・バイオ工学コース1年

中 村 和 央

(むつ市立大平中学校出身)

最初のテストも終わり、夏の暑さを感じるようになった今日このごろ、いままでの決断に迷い、苦しみ、後悔することもありました。しかし、そんな悩んでいる自分を仲間は助けてくれました。悩みを聞き、ともに考え、笑わせてくれました。

先生方は面白く、わかりやすい授業をしてくださいました。あっという間に時間は過ぎ、悩むことを忘れることができました。心の変化はジェットコースター、ワクワクとドキドキな高専生活に身をゆだね、ここでしか味わえない経験を積み、仲間と共に5年間日々の目標に近づけるように努力していきたいです。



新入生紹介 L3

春学期は高専生活体験版

L3担任 丹羽 隆裕

あっという間に春学期が過ぎ、もう入学式が遠い過去のことのように入式の日にはガチガチに緊張していた学生たちも、すっかり高専生らしくなってきました。

私自身はもう何度目かの、そして最近では3年連続で1年生の担任。毎年のように「春学期は高専生活の体験版みたいなものだから、勉強も普段の生活も、しばらくはいろいろ試してみよう」と伝えているのですが、その試行錯誤の成果が出つつあるのか、L3学生たちはそれぞれ居場所で、それぞれのペースを掴みつつあるようです。

学期当初は「静かなクラスですね」と言われてきたL3ですが、よく話を聞くと賑やかで良いクラスです。仲の良い友人同士が強くつながり、その集団同士がクラス全体で「ゆるく」つながりを持っているようです。ある種、理想的な姿だと個人的には思います。いざというときにクラスメイト全体で協力し合うことができれば、普段は付かず離れずでも十分。もしクラスを超えたところに居場所があるならば、それはそれで良いことです。

この先、長い長い高専生活が待っています。私は学生に「誰かに助けを求める能力」を身につけてほしいと思っています。勉強にせよ人間関係にせよ普段の生活にせよ、困難というのは思いもよらぬ場面で急にやってくるもの。しかも現代社会は複雑で、自力で解決できる問題の方がむしろ少なくなってきたように思います。困ったとき、苦しくなったとき、一人では前に進めそうにないとき、そんなときに「助けて」の声が上げられること、助けてくれる人がどこにいるかを知っていることは、困難を乗り越えるための重要な能力のうちです。ほんの些細なことでも助けを求められる、誰かが助けを求めているときに手を差し伸べられる…ある意味勉強よりも大事なことだと思います。ゆっくりでいいので、少しずつ身につけてくれることを願っています。



戸惑いだらけの高専生活

電気情報工学コース1年

前田 天佑

(むつ市立田名部中学校出身)

私が八戸に来て入学してから早くも2ヶ月が経ちました。この2ヶ月は中学校とのギャップに戸惑うばかりでした。90分授業、土足で入る校舎、昼食の弁当その全てが私に高専生活の始まりを告げていました。なかでも私が一番戸惑っていたのが数学です。数学A、Bがそれぞれ週に二で、360分です。中学校であれば週に200分だったので1.8倍です。内容も中学校の時よりも当然難しく苦戦しました。ですが先生が質問したところを丁寧に教えてくださったり自学自習に取り組んだりして春季到達度試験は無事にやり過ごすことができました。他の教科も先生に質問をしたり自学自習をしたりして何とか乗り切ることができています。今後高専生活を過ごす中で様々な障壁があると思います。ですが周りの人を頼りながらできる限り頑張ろうと思います。



春学期を終えて

マテリアル・バイオ工学コース1年

太田 楓介

(八戸市立北稜中学校出身)

新しい学校生活が始まり早3ヶ月。初めての到達度試験を終え一息ついたところですが、間を置かず夏学期。相変わらずスピードの早い授業に追われる毎日を過ごしています。中学校では最高学年として学校のことを熟知していたので、少しずつ慣れてきたとはいえ、右往左往してしまう新入生の生活は懐かしくもあります。小、中と7年間（転校生なので）過ごしてきた仲間と別れ、うまくやっていけるか不安でしたが、L3は親しみやすい人が多くその心配はすぐなくなりました。個性豊かな面々と、高専ならではの充実した日々を送ることができています。所属するバレーボール部の活動は思っていたより本格的で、最初は面くらいましたが、その分、達成感もあります。大変なことはこれからさらに増えてくるとは思いますが、自分のレベルアップを意識しながら楽しんでいきたいと考えています。

新入生紹介 L4

なりたい自分になることができる

L4担任 岡田 みゆき

久しぶりに何の制約もない中で行われた入学式。それを担任席から眺めることができるとは思っていませんでした。15歳の若者がそれぞれの思いを胸に飛び込んできた「高専」という世界で、自分の目標に向かって着実に進んでいけるよう見守り、応援することが自分の役割なのだと実感した瞬間でもありました。

さて、早くも3ヵ月が過ぎようとしているのですが、入学当初から変わっていないL4の様子を紹介します。一つ目、朝のSHRにはほぼ全員がそろっていること。軽微な遅刻者はいるものの、出席率はトップクラスではないかと思っています。みんな偉いです。二つ目は、教室がきれいに保たれていること。学習環境をきれいにしておくことは必ずや勉強の成果につながると信じています。三つ目に、このクラスは必要な場面で全員が協力してまとまること。みんな意見が同じはずがないなかで、「どうすればこの事態をスムーズに乗り切れるか。ここは全体で協力するのが一番だ」と考えているかどうかはともかく、とにかくこの協力体制は担任として非常に助かっております。

人生100年時代と言われる現代ですが、一人一人の人生は相変わらず一度かぎりです。何でもできるような気がしますが、実際できることはひとつだけ。その年代、その環境、その時の自分がやれることが1つしか無いのなら、やってみることに挑戦しましょう。そしてそれができる自分になるよう努力すればいいのです。成功するかどうかは結果の話であって、自分が迷いながらも目標に向かって進んでいくことこそが自分の人生を生きることだと思います。さあ、みなさん。どんな自分になりたいですか。10年後、30年後の自分はどこにいて何をしたいですか。「千里の道も一歩より」で、自分が進めば、確実にそれだけ距離は縮まるのです。八戸高専で良き仲間を得て、これからも元気に進んでください。応援しています。

自主探究に学ぶこと

環境都市・建築デザインコース1年

佐々木 玲奈

(八戸市立下長中学校出身)

高専に入学して2ヵ月が経ち、だいぶ高専の生活に慣れてきました。中学校とは違うところがいくつもあるので不安はありましたが、先輩からアドバイスなどをいただきながら楽しく高専の生活を送ることができています。

高専はやはり一般の高校とは違うところがたくさんあると感じました。その中でも印象深いのは高専独自の自主探究です。自主探究でしか得られない能力がたくさんあります。高専でしか学べないことを大切にしながら、たくさんのことを吸収していきたいと思います。



宮城県からやって来て

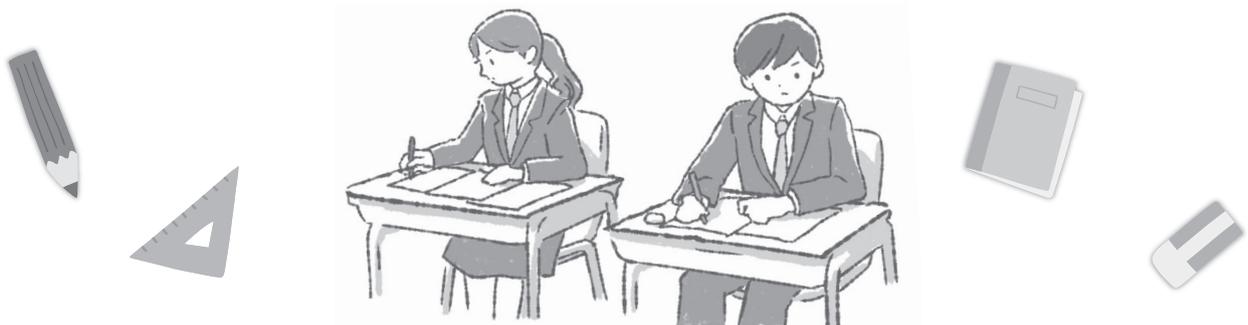
環境都市・建築デザインコース1年

田口 佑真

(宮城県富谷市立日吉台中学校出身)

入学してから約2ヵ月が経った今、私はとても充実した高専生活を送ることができています。しかし、入学式当日の私は不安な気持ちでいっぱいでした。周りの人は誰一人知らない、それに加えて環境が中学校とは大きく変わり、「期待」よりもここで楽しく学校生活を送っていいのか心配の方が勝っていました。

そんな時に私を支えてくれたのは、寮をはじめたくさんの先輩方の存在でした。分からない問題は私が理解できるまで教えてくれたり、先輩方の経験談や趣味の話など、たくさんのお話をしました。そのおかげで私は今も楽しい毎日を送ることができています。これからも先生方や先輩方、クラスメイトとのコミュニケーションをとりながら、楽しい高専生活を送っていききたいと思います。





「よーい、はじめ」 by RADWINPS 『正解』

1 学年主任 齋 麻子

制限時間は あなたのこれからの人生
解答用紙は あなたのこれからの人生
答え合わせの 時に私はもういない
だから 採点基準は あなたのこれからの人生
「よーい、はじめ」



2019年1月のNHK「18祭」で歌われた『正解』という曲の一節です。発表以来、卒業ソングとして広く歌われているようですが、「入学時に嘯みしめておくべき名曲では?」と感じています。

さて、僭越ながら、2018年よりプログラミング教育ボランティア愛好会“ろぼっと娘”を立ち上げ、顧問として主に女子学生のキャリア支援の意味合いで活動を支援しています。

去る6/23(日)東京にて「KOSEN FES 2024」が開催され、“ろぼっと娘”は本校を代表し、科学教室を行いました。前日には、この貴重な機会を生かし、設立時のかつての“ろぼっと娘”たちとの交流会を行いました。新入生や低学年生にとって、卒業後3年以上となるOGとは、「初対面」の交流となると思っておりましたが、“ろぼっと娘”を目指して入学した在学生たちにとって、OGたちは入学前からつながりを持った、入学動機につながる重要な存在であることがわかりました。

結成時には想像だにできなかった7年目の活動。当初は新規の活動が、気づけば、創立メンバーは卒業し、それでも途絶えることなく、引き継がれ、伝統となり…。を実感した場面でした。

OGたちは「KOSEN FES」会場にも応援に駆け付けてくれました。愛を感じます。

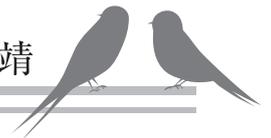
この活動が「正解」だったのかどうか。顧問の私と共に出会ったOGたちは私自身の「答え合わせ」の時には「もういない」。OGたち自身にとってもこの活動が「正解」かどうか「答え合わせ」をする場に顧問の私はいない。そして、新入生の、在学生の「答え合わせ」の場には、おそらく顧問の私も、きっかけを作ったOGもいません。それは、誰にとっても「あなたのこれからの人生」だから。

このことは、誰に対してもあてはまることかと思えます。「人生における影響関係」は多くの人間関係の中で発生します。親子しかり、同級生しかり、人々は常に誰かを影響し、影響されあって生きています。ですが、個々に「自分の人生」であって誰のものでもありません。「あなたのこれからの人生」を「正解」を導き出すために、誰からも採点されず、自分の採点基準で、最良の「正解」を出せることを願っています。

殊に新入生には、この曲を嘯みしめて、高専生活を有意義に送ってほしいとエールを送ります。

授業参観日を終えて

教務主事補 細川 靖



今年も春学期の4月29日(月)に無事、保護者参観日を実施することができました。昨年の新型コロナウイルス感染症の5類移行により、今年から以前の規制の無い形で、保護者参観日実施となりました。今回授業参観に参加された保護者は276名で、昨年の269名、令和3年の227名を上回る人数となりました。参観の学年ごとの内訳は、1学年が113名、2学年が67名、3学年が53名、4学年が29名、5学年が12名、専攻科が2名と1学年が最も多い参観者でした。高学年の参観は兄弟生が大半のようで、弟や妹の授業参観に参加して一緒に兄妹の授業も見るといふ保護者の方が多かったようです。

多数が参観された1学年は、月曜授業日であったため、午後は各コースの専門科目の製図や実習が行われました。機械・医工学コースのものづくりセンターで参観された保護者からは「高校とはずいぶん違う」や「早速実習で専門的な作業をしている高専らしい」などのコメントをいただきました。また、製図では、実際に製図の演習を行っ

ていて「先生に丁寧に教えてもらっていて安心した」などのコメントをいただきました。今回は祝日のため、親子連れの方々もいて、高専の特色である各専門コースの授業を参観していただいたのは、本校PRにも繋がったと考えております。

お忙しい中、参観いただいた皆様に厚く御礼申し上げます。皆様からのアンケート結果からは「妹も連れて来ましたが、楽しさが伝わって来た様子です。授業参観また参加したいです。ありがとうございました。」や「1年生は、皆、制服を着てとてもまじめに授業を受けほほえましく思いました。5年生も真剣に取り組む姿、すばらしいと感じました。」などの感想があった一方、授業中の小テストを受ける学生態度のご指摘もあり、ご指摘事項を全教員で共有して授業改善に努めてまいります。今年度は秋学期の11月11日(月)から15(金)もオープン授業週間を設定しております。今回参観できなかった保護者の皆様にも、ぜひ参観いただき、ご意見を賜れば幸いです。

専攻科新入生紹介

専攻科の生活と目標

機械システムデザインコース1年
長根直幹

本科5年間終え、専攻科での生活が始まりました。学校生活は、昨年度までとほぼ変わりませんが、日々取り組む学習内容はより高いレベルのものが多くなりました。授業や課題の質と量が高くなったことで、毎日新たな刺激を得ています。

私は、専攻科に入学後は資格取得など新たなことに挑戦しようと考えていました。そのため、自分の時間を作るために研究をしつつ、課題を効率よく作成することが必要となります。そこで、自分のスケジュール管理がとても重要であるように感じています。これは、社会に出てからも大事な能力のひとつであると思うので、今から身につけるよう心がけます。

本科5年間が終わるのが早かったように、おそらく専攻科の2年間もあっという間ででしょう。だからこそ、限られた時間の中で自分の能力や価値を高められる専攻科生活を送りたいと思います。

主体的に学ぶこと

電気情報システム工学コース1年
杉本遼太郎

専攻科に入学して約3か月が経ちました。学び舎は今まで通りですが、気持ちを入れ替えて日々の勉強に励んでいます。本科在学中は試験のための勉強になっていましたが、今では大きく変わりました。専攻科はクラスの人数が少ないため、ためらうことなく授業内で先生や仲間とコミュニケーションを取ることができます。おかげで、曖昧に覚えてきたものが段々と自分の言葉で理解できるようになりました。特別研究や他コースとの交流から良い刺激も受けており、学生というものは自ら学ぶ者であり、専攻科に入った今ようやくそのことを本当に意識するようになったと思います。周りと比べたら小さく、遅い成長かもしれませんが、今はとにかく自分のためになる学校生活を送れるよう全ての事に全力で取り組みます。

最後になりますが、私の今までとこれからの進路を支えてくださる全ての方々から感謝いたします。

成長への挑戦

マテリアル・バイオ工学コース1年
類家望可

卒業研究を終えて肩の荷が下りたのも束の間、専攻科生となって早くも3か月が経ちました。

専攻科は課題や授業の準備、レポートが多く、さらに学外研修に向けて春あるいはそれ以前から準備をする必要があります。スケジュール管理能力と計画性が求められるようになりました。普段の授業では、一般科目の内容の難しさと、それについていける他コースの学生のレベルの高さを目の当たりにし、スライド発表の機会が増えた専門の授業では、回を重ねるごとにプレゼン力が上達していくクラスメイトに対し焦りを感じています。しかし、専攻科は他の学生から刺激を受けられる絶好の環境だと実感しています。

スケジュール管理能力、計画性、プレゼン力の他にも、専攻科で求められる力を身につけ、社会に出た時に発揮できるよう、専攻科の2年間で有意義に過ごせるように努めていきたいと思っています。

専攻科での毎日

環境都市・建築デザインコース1年
北向瑛世

八戸高専への2度目の入学式を迎えてから、はや3ヶ月が経ちました。専攻科は、本科の延長線上のように考えていましたが、他コースと授業を受けることで、交流の機会が広がり、多くの場面で助け合える関係となっています。本科と違い、研究にかかる時間や、活動が多くなり、自分の中で知りたいことに向かっている時間は自分の成長を感じることができ、充実した日々を送れています。

2年間という限られた時間ではありますが、その中でも将来どのような自分になりたいかを思い描きながら、今何をしていくべきかを考える時間は難しいながらも未来に対して大きな希望を持って活動することができる良い時間となっています。未来のことは誰にもわかりませんが、自分の輝いている姿に向かってこれからも勉強に、研究に精進していきたいです。

八戸高専の生活

電気情報工学コース3年
モウアヨンネン モウアセン
(ラオス)

はじめまして。センです。ラオスから来ました。高専にきて楽しかったことは勉強です。クラスメイトのチューターの2人に勉強を教わりながら、色々な話ができるので、とても楽しい時間を過ごしています。チューターの2人には本当に親切にしてもらって、感謝しています。寮のご飯はまあまあおいしいです。特にラーメン、牛丼は気に入りました。ラオスでは部屋の掃除はほうきでの掃き掃除だったので、日本に来て掃除機という大変便利な電気機器があって感動しました。その掃除機が寮にあるので、掃除のとき、便利で助かっています。

弘前に花見に行ったときは、出店の焼き鳥とたこ焼きがおいしくて、感動しました。また、桜もたくさんできれいで、楽しい思い出になりました。

草刈先生には日本語を親切、丁寧に教えていただいて感謝しています。今の目標は日本語検定でN2を3年生の間に合格することです。頑張ります、草刈先生！ 鎌田先生は色々学校のことを教えてくれるので、大変助かっています。

これからは友達と日本語でたくさん話せるように、頑張って自分から話しかけるようにしたいです！

初めての高専生活

マテリアル・バイオ工学コース3年
ファイスアヤー カムパン
(ラオス)

こんにちは、ファイスアヤー カムパンです。カムパンと呼んでください。ラオスのポンサリー県から来ました。寮生活は初めてではありません。中学校と高校の時にずっと寮生活をしていました。

高専の時間割はラオスと異なりますが、私は何をすることも時間を守ろうと考えています。2か月高専で過ごしました。クラスメートはとてもフレンドリーで、皆さんは楽しく授業をしています。私は化学の知識が十分ではないので、化学のテストは難しかったです。次のテストに向けてもっと勉強する必要があると思っています。先生方は優しいです。大事なことは教えてもらえます。日本での勉強は楽しく、良い経験だと思っています。

寮の食堂ではおいしい日本食を食べられますが、日本食には辛い料理がないです。私は辛い料理が好きです。なので、この辺には辛いチリがないのが残念です。

どんなに難しいことでも自分の夢のために頑張ります。これからよろしくお願いたします。

八戸高専はうちのように

マテリアル・バイオ工学コース3年
パイパセイツ タワッサイ
(ラオス)

こんにちは、私の名前はキンです。ラオスから来ました。今、Cコース3年生で勉強しています。高専の雰囲気はとてもいいです。皆さんは優しく、いつも挨拶します。先生も優しく、色々なサポートをしてくださいます。この高専は留学生が多いので、先生は時々厳しいです。多くの留学生はタイ人なので、会話しやすいです。困ったときに、友達や先輩が相談にのってくれて、生活はとても楽になりました。私にとって一番困ることは日本人と日本語で話す勇気がないことです。これについてはよく日本人と話すことでペラペラ話せるようになってと思っています。卒業するまで有意義な生活を送りたいと思います。

今年の編入生・留学生紹介

初めての高専生活

環境都市・建築デザインコース3年
ダムデインドルジェ シーラブジャムツ
(モンゴル)

こんにちは！シールです。私はモンゴルのウランバートルから来ました。八戸高専に来る前は、わくわくと不安が入り混じった気持ちでしたが、初日からクラスメイトたちが温かく迎えてくれ、すぐに多くの友達を作ることができて非常に嬉しく思いました。

最初の一ヶ月間は、新しい環境に慣れるのに苦労しましたが、先輩、友達、そして先生方のおかげで、今では何の問題もなく楽しく留学生活を送っています。私が言語の壁や文化の違いに直面した際に、多くの先生方がいつも学業だけでなく、日常生活やスポーツ活動においても多大な支援をいただいています。

八戸高専に来てからあつという間に二ヶ月が経過し、春学期が終わり、夏学期が始まりました。最初の到達度試験では緊張しましたが、次回はさらに良い成績を目指して頑張るつもりです。また、勉強以外にサッカーも頑張り、今年は高専全国大会へ行くことを目標としています。

学びの場である講義だけでなく、充実した学校生活を送ることを通じて多くを学び、互いに刺激を受け合っています。支えてくれる高専の全ての方々に感謝しており、これからも一緒に頑張り続けたいです。

八戸高専に編入して

機械・医工学コース4年
坂本晴琉
(青森県立弘前工業高等学校出身)

八戸高専に入学して早くも2か月が経ちました。編入するまでの間は、しっかり勉強についていけるか、友達ができるか、すごく不安がありました。実際入学後も分からないことが多く、工業高校とは全く違う環境や雰囲気ですごく困っていました。まだ慣れない高専生活に戸惑いながらもM4のクラスメイトや先生方に教えてもらいながら、なんとか最初のテストや日々のレポート、課題を乗り切ることができました。

授業を受けていく中で自分だけできないこと、分からないことが毎日当たり前のように出てきます。今はクラスメイトと比べて、機械の技術や知識面でかなり遅れを取っていますが、毎日自学自習を行い、周りとの差を埋められるようにしたいです。

また、寮生活になり、いろいろ不慣れなことが多く毎日の生活が大変ですが、規則正しい生活を送れるように心掛けていきたいです。

これから約2年間、弘前工業高校で学んできたことを生かしつつ、自分の目標や希望する進路を達成できるように頑張っていきます。これからもよろしく願い申し上げます。

これからの抱負

電気情報工学コース4年
二部 翔太郎
(青森県立八戸工業高等学校出身)

入学してから2ヶ月があつという間に過ぎていきました。環境の変化に苦労しながらも日々成長を感じながら過ごしています。高専での勉強は工業高校で学んだことをさらに理論的に学習していきますが、使う知識の幅が広く自分の勉強不足を痛感しています。しかし、乗り越えた時の達成感、技術の根本を知ることができた時の充実感はとても大きいです。今までと比べても勉強することに熱が入ったように思います。また、時間が欲しいといつも思うようになりました。学校生活にも慣れ、学校の中で迷子になることも無くなりました。周りの方々の助けを借りながら、これからの2年間大変なことも多いと思いますが、高専での生活を余すところなく楽しんで、夢に向かって頑張ります。改めてよろしく願いします。

◆ ◆ ◆ 新任教職員紹介 ◆ ◆ ◆

- ①氏名
- ②出身地
- ③所属・職名
- ④前職

① 植村 望

- ② 青森県青森市
- ③ 総合科学教育科 准教授
- ④ 弘前大学大学院医学研究科 助教

本年4月に着任した植村望と申します。青森県出身ですが、八戸市での生活は初めてです。先日、初めて館花岸壁朝市に行きました。夜も明けぬ時間帯にも関わらず、大勢の人が行き交い、岸壁は熱気に満ち溢れていました。これから八戸市の魅力を探ることが楽しみのひとつです。

前職では、弘前大学において、大規模健診（岩木健診・いきいき健診）、QOL健診、青森県医師会健やか力推進センター事業における健康教育に携わって参りました。研究テーマは「健康」です。

青森県は全国一の短命県です。生涯にわたり健康で豊かな生活を実現するためには、若年期からの健康教育がとても重要であると考えています。

本校学生への健康教育を通して、学生のみならず青森県民の生涯にわたる健康（Well-being）に貢献できるよう微力ながら尽力して参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

① 矢吹文乃

- ② 岡山県総社市
- ③ 総合科学教育科（国語） 助教
- ④ 広島大学大学院文学研究科 博士課程後期

昨年度まで広島大学大学院文学研究科に在籍していました。専門は日本の近現代文学で、特に青森県出身の劇作家・寺山修司を研究しています。

私にとって青森県は、まずは研究対象である寺山の出身地です。また、私が文学を志すきっかけを作った小説家・太宰治のふるさとでもあります。ですから、この地で文学の魅力を教えるということは、私にとって特別な意味を持っています。

私がはじめて八戸市を訪れたのは2018年の夏でした。修士論文を書くために、三沢市寺山修司記念館へ調査に行った時のことです。レンタカーの車窓から見た八戸の町の雰囲気生まれ育った岡山県総社市にそっくりだったので、はじめて来たはずなのに懐かしさを覚えました。

着任して日が浅いですが、八戸は第二のふるさとになりつつあります。教育に研究に、邁進して参りますので何卒よろしくお願ひいたします。

① 清川 紘樹

- ② 青森県八戸市
- ③ 総合科学教育科 助教
- ④ 三沢外貨両替センター

4月に着任した清川紘樹（ひろき）と申します。私は高校卒業までここ八戸市で生まれ育ちました。しかも本校のすぐ近くにある日赤病院で生まれ、本校の隣にあるウルスラ幼稚園に通って参りました。実家もこれまた本校の近くです。

英語教員として採用されましたが、これまで英語習得に限らず様々な経験をしてきました。生態学者を目指したり（生き物が大好き!!）、システムエンジニアとして働いたり、オーストラリアで働いたり大学院留学をしたり等々。そうした様々な経験を通して見てきたこと感じてきたことを、将来を担う学生たちに伝えていこうと思います。

八戸高専には心優しい学生が非常に多いです。そんな学生たちに寄り添い、皆の将来にとって少しでもプラスになるような教育を心掛けます。

初めのうちは至らぬ点多々あるかと思いますが、これからどうぞよろしくお願ひいたします。

① 松橋 瑠偉

- ② 青森県八戸市
- ③ 総合科学教育科 助教
- ④ 株式会社デーリー東北新聞社

令和6年4月1日付けで着任した松橋瑠偉と申します。私は今から10年ほど前、本校の機械・工学コースの前身である機械工学科に所属し、学校生活を送っていました。このたびご縁をいただき、八戸高専に戻ってくることができました。母校で働けることに喜びを感じております。

専門種目はラグビーです。高専を卒業した後、鹿屋体育大学へ進みました。筑波大学大学院を修了後、今年3月までは、新聞記者として働いていました。少し変わった経歴を持つ高専出身の体育教員ですが、これまでの経験を生かしながら本校のお役に立てればと考えております。

教育現場に立つのは初めてですので、何かと至らない点もあるかと存じます。私自身も日々研さんを積んでいきながら、学生の成長をサポートできるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

① 丸岡 大 佑

- ② 徳島県小松島市
- ③ マテリアル・バイオ工学コース 助教
- ④ 東北大学 環境科学研究科 助教

令和6年4月1日付けで着任した丸岡大佑と申します。私は徳島県の阿南工業高等専門学校の機械工学科を2005年に卒業後、長岡技術科学大学に編入学し、博士号を取得しました。

博士号取得後は横浜国立大で博士研究員、東北大学では助教として勤務しておりました。両機関では、主にセラミックス複合材料である自己治癒セラミックスの研究や、鉄鋼製錬に関する基礎検討、環境負荷物質の低減などに関する研究に携わってきました。

阿南高専時代に教員を志しておりましたが、ご縁があって高専教育に携われる機会を頂くことができました。前職までは研究の比重が比較的大きかったのですが、今後は教育も重視し、次世代の人材育成および最新研究の社会実装に向けて日々精進してまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

① 北 村 洋 樹

- ② 青森県八戸市
- ③ マテリアル・バイオ工学コース 助教
- ④ 株式会社ジェイテクト 主任

令和6年4月1日付けで着任した北村洋樹と申します。私は本校のマテリアル・バイオ工学コースの前身である物質工学科を2011年に卒業、専攻科物質工学専攻を2013年に修了しました。専攻科修了後は東京工業大学大学院総合理工学研究科において博士号を取得しました。

博士号取得後は国立環境研究所において、有害廃棄物の適正処理・処分方法に関する研究、前職の株式会社ジェイテクトではカーボンニュートラルに貢献するCO₂回収に関する研究開発に携わってきました。

ご縁があって教員として戻ってくるようになりましたが、学生の教育に携わるのは初めてとなります。私自身が成長することができた母校で、次は後輩でもある本校学生の成長に貢献できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

① 重 浩一郎

- ② 兵庫県尼崎市
- ③ 環境都市・建築デザインコース 准教授
- ④ 岩手県職員

本年4月に着任した重(しげ)浩一郎と申します。3月までは岩手県職員として環境生活、市町村財政、ILC(国際リニアコライダー)推進、教育委員会、保健福祉などさまざまな行政課題に取り組んできました。県職員の仕事をする一方で、個人的な活動として、脱炭素実現に向けた研究活動を続けてきました。

今後は、都市計画など土木計画分野の教員として学生の教育研究活動をサポートしていくなかで、特に、環境省、岩手県、久慈市と様々な行政機関で勤務した(珍しい)経験を活かし、学生に公務員のやりがいを伝えていきたいと思っています。

これまでの仕事での経験や人とのつながりを活かして、青森県や八戸地域のお役に立てるよう微力を尽くしたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

① 小笠原 朋 美

- ② 青森県八戸市
- ③ 総務課総務係長
- ④ 岩手大学学務部国際課国際教育グループ主査

令和6年4月1日付けで総務課に配属になりました小笠原と申します。3月までは岩手大学で勤務しており、この度人事交流で2年間お世話になりました。

岩手大学では、主に国費留学生、交換留学生業務を担当しており留学生と関わる業務が多かったので、今回初めての総務の業務で新鮮な気持ちで毎日仕事に取り組んでおります。周りの方々に日々支えられて業務をこなすことができ、とても感謝しております。

大学と高専との制度や事務の進め方の違いに戸惑うこともありますが、皆さまのお力をお借りしながら、お役に立てるよう精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

① 竹 原 裕 二

- ② 岩手県盛岡市
- ③ 総務課職員係長
- ④ 岩手大学法人運営部人事課人事グループ主査

この4月に総務課職員係に着任しました竹原と申します。大学卒業後、岩手大学(図書館)～一関高専(学生支援)～岩手大学(学務・学部)～八戸高専(教務)～岩手大学(入試・大学院・人事)と勤務してきました。この度、9年ぶり2回目の八戸高専勤務となります。

八戸には15年程前から住んでいるため、生活面での変化はありませんが、仕事面では組織やシステムの違いから新たに覚えることが多々あり、周囲の方々に教えていただきながら業務を進めているところでした。周囲の方々には日々、感謝しております。

微力ではありますが、これまでの経験を活かし、学生、教職員の皆様と一緒に良い学校となるよう頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



2024年度を迎えて

寮務主事補 古川 琢 磨

令和6年4月2日、新留学生を含む新入寮生が北辰寮に入寮しスタートいたしました。今年度、新型コロナウイルス対応から以前の寮の運営体制に完全に戻りました。昨年に引き続き寮祭実行委員会が本格的な寮祭を企画しております。今年度は寮での朝巡回を毎日実施し、規則的な登校ができるよう指導体制を整えました。コロナ以前の通常の生活に戻ったことで、寮則違反者が増加傾向にあります。特に、登校時の無断残寮者が増えているため、規則正しい生活を送れるよう指導してまいります。今後も寮生の皆さんが柔軟に生活できるよう、寮務教職員一同、一丸となって支援してまいります。

国際寮について

マテリアル・バイオ工学コース5年
橋 本 樹
(八戸市立東中学校出身)

新学期から約2ヶ月が経ち、新入寮生は新しい生活に慣れてきた頃合いだと思われます。その中で、国際棟では、4月からフランスやフィ

ンランドからの短期留学生が住み、多くの日本人寮生が交流しています。最近では、日本語以外の言語が多く聞こえており、言語や文化の違いを学ぶことができていると感じています。また、共有スペースを活用している寮生が多く、勉強を教え合う姿をよく見えています。特に、留学生と共に勉強している寮生もおり、勉強面でも交流していることに、改めて国際寮の魅力を感じています。

今年度はコロナやインフルエンザなどの流行病が落ち着いてきて、本来の国際寮の姿が見えつつあります。これから本格的な夏が来るので、体調管理に注意して、さらに国際交流を盛んにしていきましょう。

北辰寮 総代より

機械・医工学コース5年
浅 木 慎之介
(青森市立荒川中学校出身)

今年度は今のところ新型コロナウイルスの弊害を受けることなく寮行事及び寮生活を送ることができています。今年度は四年ぶりに新入寮生歓迎会を企画し、開催することができました。

さて、新学期開始から二か月が経過し、春学期到達度試験も無事に終わりを迎えることができました。これから梅雨に入り、気温も上がっていくかとは思いますが最近では気温差が激しいようにも思えます。夏学期は寮祭や校内体育大会等の学校でのイベントが多々あります。高専大会を控えている学生も多いと思いますので体調管理に努め、健康的な生活を心がけていただきたいと思っています。

皆さんよいスタートをきることができましたか？一年はまだまだこれからです。できた方もそうでなかった方も一日一日を大切に過ごしていきましょう！

相談室より

相談室長 中村 嘉孝

相談室では、心身の変調や悩みのある学生、教職員に対して、カウンセラー等による支援を行っています。青年期は心身が大きく変化・成長する時期であり、人間関係も広がります。何を基準にして選択し行動をすれば良いのか自信が持てず、不安定な状態と言えます。わたしを含め先生も、保護者も、大人の方々すべて、皆さんと同じ時期を経ていますし、大人になっても、日々、迷いながら生活しています。尚更、経験の少ない学生の皆さんは、悩みを抱えやすくなります。人は皆それぞれ異なった経験をし、出来事に対する認識の仕方に癖があります。その癖が偏った形になってしまうと、悩みや苦しみが強くなり心身に不調を生じさせます。心の仕組み、認知の仕組みを良く理解なさっているカウンセラーの先生の力を借りて、明るく前向きに生きていけるヒントを教えてください。

相談室は夏休み中も平日9～17時開室しています（盆の学校閉鎖期間を除く）。相談がある場合は、まず電話かメールで相談員か保健室にお問い合わせください。

◎カウンセリング

カウンセリングは原則として学校にて「対面相談」で行います。相談を希望する場合は、日時を予約しての対応になります。臨床心理士、公認心理師の資格を持つカウンセラーが定期的に来校していますので、安心してご相談ください。下記の本校ホームページにカウンセラー等の来校予定日が掲載されていますのでご確認ください。校内に「カウンセラー来校日のお知らせ」ポスターや、各教室内に「相談室からのお知らせ」も掲示しています。

・カウンセラー

小川 拓人 氏（公認心理師・青南病院）
土屋 文彦 氏（臨床心理士）
中西 智子 氏（臨床心理士）
嶋野知恵子 氏（公認心理師）

◎スクールソーシャルワーカー

さらに本校では、社会福祉士の資格をもつスクールソーシャルワーカー（SSW）も来校する予定です。心の悩みというより学生の家庭や学外も含め社会的に困難がある場合など是非ご相談ください。この場合も秘密は守られます。

◎障害者への支援体制

発達障害等の診断を受けた場合や、生得的なさまざまな特性により支援が必要と思われる場合にも相談室にご相談ください。合理的配慮が必要な場合は、教職員チームで支援体制を整え、障害支援の経験豊かな専門家のアドバイスを得ながら適切に対応して参ります。

・障害支援アドバイザー

千葉 隆史 氏（非常勤／元県立養護学校長）

最後に本校常勤の相談室スタッフをご紹介します。

◎インテーカー

（窓口）TEL 0178-27-7236

（保健室）石川久美子看護師

◎相談員

各コースの教員が、皆さんの悩みなどに対応できる体制をとっています。曜日ごとに教員が決まっており、教員室や談話室で待っております。時間は16:00～17:00（授業日）です。夏学期の担当は次の通りです。

月曜日：中村 嘉孝 教員（Eコース）

火曜日：矢吹 文乃 教員（G科）

水曜日：森 大祐 教員（Mコース）

木曜日：金 善旭 教員（Zコース）

金曜日：丸岡 大佑 教員（Cコース）

◎教職員向け相談員

下に示す時間、場所で相談に応じます。主に教職員向けですが、学生でも相談できます。

河村 信治 相談員

水曜日15:00～17:00 相談室

吉田 光男 相談員

月曜日10:00～12:00

ものづくりセンタープログラム室

八戸高専 相談室ホームページ

<https://www.hachinohe-ct.ac.jp/schoollife/soudan/index.php>

☆学生本人と保護者の方々がご利用になれる高専機構の「KOSEN健康相談室」フリーダイヤル0800-000-2228もあります。
（受付時間：24時間・年中無休）

国際交流・グローバルエンジニア育成に向けて

グローバルセンターから

グローバルセンター長 中村 雅 徳
国際交流室長 吉田 雅 昭
グローバルエンジニア室長 山本 歩

今年度より、国立高等専門学校機構主催の第5期グローバルエンジニア育成プログラムが始動しました。本学では、留学生受け入れと国際交流を推進する国際交流室とグローバルエンジニア室がグローバルセンター組織として開設しました。英語基礎力（英検、TOEICスコア）はここ5年で大幅に向上しました。これを基に、実践的な英語運用能力を獲得することが次の目標となります。

1. 令和6年度の新留学生

今年度、ラオスから3名（C：2名、E：1名）、モンゴルから1名（Z：1名）が国費留学生として3年生へ編入学してきました。留学生は専門分野を日本語で勉強しています。また、家族のいない八戸での学校生活を始めました。慣れないこともたくさんあり日本人学生のサポートが必要です。チュータでない学生も彼らと積極的にかかわって欲しいです。



短期・長期留学生と日本人学生を交えた弘前城お花見遠足

2. グローバルエンジニア育成事業

令和6年度から新たにグローバルエンジニア（以下、GE）室が新設されました。GE室では、これまで本校が取り組んできた自主探究活動の国際化の推進を一つの柱として、GEの育成に努めてまいります。今期のGE育成プログラムとして、本校では自律的・対等的・相補的な国際的視野の涵養に取り組みます。すなわち、コミュニケーション力の養成と共に、英語による発表や議論の場で自分の意見を主張できる自律心ならびに異なる文化や価値観を積極的に理解し、尊重、共有できる

ような協調性、多様な状況に適應する柔軟性といったグローバルマインドセットを育てていくことを目指しています。そのために、令和5年度から再開したテマセク・ポリテクニクや新モンゴル高専、モンゴル高専、モンゴル科技大高専との交流事業を通じた低学年における「国際自主探究」をより一層推進いたします。異文化や異なる気候風土、食習慣などに興味関心があり、国際自主探究として自身の探究活動に結び付けたいと考えている方は交流プログラムへの参加をご検討してみてくださいはいかがでしょうか？ちなみに、令和5年度の国際自主探究に参加した学生の中には、「トビタテ留学JAPAN」に採択された方もいます。



テマセク・ポリテクニク国際自主探究での集合写真

また、本校ではこれまでTOEICを活用した英語基礎力の向上を実践してきました。その結果、本科5年生や専攻科生のTOEICのスコアは、企業が求めるレベルに達するようになりました。今後は、この英語基礎力を維持していくとともに、実践的に活用できる力への発展を目指します。学内でのTOEIC-IP試験の実施や海外の学校や他高専から学生を招聘して実施するGlobal Campなど、英語・コミュニケーション力向上につながる取り組みを行う予定なので進んで参加しましょう。

3. ホームステイ

お盆や年末年始など学校閉鎖期に自国に帰らない留学生がおります。日本の家族団欒やお正月体験を楽しませてくれるホームステイボランティアを募集しています。興味のある（ご家庭に招待して頂ける）学生さんは、気軽にお声かけください。

【照会先】

- 総務係、国際交流室長：G科 吉田教授
- 同副室長：Cコース 門磨准教授

ダイバーシティ推進委員会から

ダイバーシティ推進委員会について 本間 哲雄

ダイバーシティ推進委員会は、男女共同参画委員会から名称変更し、令和6年4月より発足しました。男女共同参画委員会では、ジェンダーギャップの解消をゴールとして、女子学生や女性教員の割合の増加に係る取組を行い、女子学生や女性教員の比率を高めてきました。ダイバーシティ推進委員会では、このようなジェンダーギャップの解消はもちろん、年齢、人種、国籍、宗教、障がい、性的少数者であることを理由とする差別がないことをビジョンとして掲げています。ダイバーシティ推進委員会では、このビジョンを達成するために様々な取り組みを行うことで、学生・教職員・保護者など本校に係る全ての人がダイバーシティに理解を深め、その推進が図られることを願っています。

さて、学生の皆さんは様々な場面でダイバーシティを学んでいるかと思います。2024年の世界経済フォーラムが発表した、ジェンダーギャップ指数に関する報告書^{*1}では、日本のジェンダーギャップ指数が125位から118位であったと書かれています。報告書には、日本のジェンダーギャップは、昨年度に比べて改善されたとのことですから、きっと学生の皆さんが社会で活躍する頃には、もっとダイバーシティが進んだ良い世の中になっていると思います。今からでも、ダイバーシティについて理解を深めて行動に移すことが、就職活動や社会生活できっと役立つことでしょう。また身近なことでは、クラスにおいて他人との違いを受容できることが大切だと感じています。他人の考え方や発言が自分の価値観とちょっと違っていても、多面的に物事の背景を知り、排除するのではなく理解しようとする気持ちを持ってほしいと思います。ちょっと合わないなと思う人に対して、時には距離を置くことは必要かもしれませんが、相手の考え方を多面的に捉え、自分なりに深く考え、相手を理解することでダイバーシティが浸透し、互いに協力しようとする姿勢が生まれ、良いクラスが形成されると感じています。

^{*1} <https://www.weforum.org/reports/global-gender-gap-report-2024> (参照 2024-06-13)

図書館の

今年度の予定

図書館長 釜谷 博行

今年度の図書館の活動として、以下のことを計画しています。

<読書習慣を身につけさせるための 各種イベントについて>

- ・ブックハンティング
- ・ニューズレターの発行
- ・各種展示コーナーの充実

<令和6年度図書館委員会行動計画>

- ・交流室の積極的な活用について
- ・読書習慣を身につけさせるための各種イベントの充実
- ・蔵書点検の実施
- ・新・統合図書館システムの安定運用

<その他>

○八戸ブックセンターとの連携「ひと棚」選書

今年度も八戸ブックセンター内に「ひと棚」を設置させていただき、高専の先生方が選書した図書を展示する予定です。新たな「本との出会い」があるかもしれません。お立ち寄り頂ければと思います。

○新入生コーナーの開設について

図書館の利用促進のため、図書館入口正面に新入生の皆さんに向けて、おすすめの本を集めたコーナーを開設しました。新1年生の皆さん、是非、図書館に足を運んでみて下さい。



○新・統合図書館システムの利便性向上について

新・統合図書館システムの導入に合わせて、校外からも図書の予約や貸し出し状況の確認ができるようになりました。蔵書検索画面からログインし、ご利用ください。

右のQRコードから蔵書検索画面にアクセスできます。ログインボタンは画面右上に置かれています。



キャリア教育。 学習支援センターから

キャリア教育・学習支援センター長 沢村 利洋

年度初めのキャリア教育・学習支援センター（以下、キャリアセンター）主催の学年ごとのキャリア説明会がすべて終了しました。自分の学年で心掛けること（学年別キャリアデザイン行動指針）を、実行できているでしょうか？

どう動くか分からない方は説明会時にお渡しした「進路参考資料」でご確認ください。

特に、進路情報を片っ端から収集して将来ビジョンを形成する3年生と、半年後には就職試験や編入学試験に向かう4年生は、今一度自分に足りないことを再確認し、すぐに実行に移って下さい。

では、今年度の進路状況とキャリアセンター事業についてご説明していきます。

【進路状況】

1. 今年度の社会情勢

昨年度、インターンシップの取り扱いが大幅に変わり、企業はインターンシップでの評価を採用選考に使えるようになりました。また、採用選考において学業成績をより重要視するというように状況が大きく変わりました。今年度は、さらに、一定条件のインターンシップを行えば、4年生年度末の3月からの採用活動開始が可能となりました。そのため、進路決定におけるインターンシップの重要性が大きくなり、今年の4年生から、応募したら「SPIを受けるように言われた」という話もあり、就職試験の一部といったあり様になっていると感じます。

また、ニュースなどでご存じかもしれませんが、5年生の採用選考は年々早期化していますが、今年は上記インターンシップの捉え方の変化により、大幅にスタートが早期化しています。大学全体では、本校企業説明会開催日である3月1日時点で3人に1人が内々定を得ており、理工系に限ると2人に1人の行き先が決定しています。一般的な採用活動解禁日である6月1日において理工系は約9割決定しており、就職活動の多くが終了している状況です。

本校の5年生の就職活動においても、エントリーシート作成など志望先への準備を3月中に8割以上の学生が済ませ、4月末の時点でコースによっては7割程度の内々定が出ています。

進学に関しては、以前は、春と秋に編入学試験の実施大学が分かれていたため、7月の受験ピーク時期を過ぎて選択肢が多数ありました。しかし、今年は秋の実施大学の多くが春に試験時期を移しています。そのため、以前より受験大学の組合せが人によっては厳しくなっています。したがって、3年生終了時まで基礎学力をしっかりと身につけ、4年生の秋にはTOEICスコアを600近くまで上げ、数学などの受験科目の本格的な対策に入りたいものです。さらに、4年生の春休みからは志望大の受験対策の仕上げに入ることが必要でしょう。

以上、就職も進学も早期化が進んでいます。少子化による影響でこの傾向はより加速することはあっても、戻ることはしばらくないことでしょう。

進路活動は情報戦です。また、ライバルは学内ではなく学外の他高専生や大学生です。

皆さんは、授業時間以外に何をしていますか？友達との雑談、ゲームやネット動画の視聴といった息抜きは必要でしょう。部活や委員会活動などで自分を成長させることも大変重要です。一方で、進路に関する情報収集はどのくらい時間をとっていますか？進路に関する情報の総量は莫大（皆さんの選択肢となる分野の企業数は約100万社）で、個人個人が必要とする情報は異なります。そのようなことから、キャリアセンターから提供できる内容は、活動方針と情報収集の手段くらいです。ですから、空き時間の1割でもいいので、自発的に調べ、様々な分野があるということを知り、何に興味があるのか自己分析し、将来どのように働くかイメージし、それにマッチしていそうなところを選択してください。

2. 現在の進路状況

今年度の6月14日現在の本科5年生および専攻科2年生の進路状況を表に示します。進学希望と就職希望の割合は、コースによってばらつきはありますが、全体としては、ほぼ同じくらい、心もち進学が多い状況です。

6月14日の時点では、進学希望で行先を確保している学生の割合は、本科約1/4、専攻科0です。昨年度とほぼ同じです。この時期は本校専攻科と

いくつかの大学の推薦しか実施されていませんので今後に期待です。

就職希望で内定を1つでも取っている学生の割合は、本科約2/3、専攻科3/4です。この時期の内定率は昨年度とほぼ同様です。3,4月の内定率は大幅に上昇しましたが、この時期になると落ちてきています。

求人数は昨年度まで増加傾向にありましたが、製造業の全国的な傾向と同様今年度は減少しています。ただし、大学が1%ほどの減少に対し、本校本科で約25%と激減しています。今後の状況が読めないことから、広く情報を集め自分に合った企業を探して下さい。

進路状況（6月14日現在）

| 本科コース | M | E | C | Z | 計 |
|------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 卒業予定者数 | 39 | 44 | 34 | 41 | 158 |
| 進学希望者数 (合格者数) | 16 (8) | 25 (6) | 22 (8) | 19 (4) | 82 (26) |
| 就職希望者数 (内定者数) | 23 (16) | 19 (15) | 12 (10) | 22 (8) | 76 (49) |
| 求人者数 (昨年度同時期) | 592 (767) | 609 (786) | 408 (566) | 447 (592) | 2056 (2711) |

| 専攻科コース | AM | AE | AC | AZ | 計 |
|------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|----------------|
| 修了予定者数 | 5 | 5 | 8 | 4 | 22 |
| 進学希望者数 (合格者数) | 2 (0) | 2 (0) | 8 (0) | 1 (0) | 13 (0) |
| 就職希望者数 (内定者数) | 3 (2) | 3 (3) | - (-) | 2 (1) | 8 (6) |
| 求人者数 (昨年度同時期) | 562 (733) | 578 (751) | 382 (546) | 427 (576) | 1949 (2606) |

【キャリア支援】

年度初めに実施したキャリア説明会以外に今年度も次の講座を予定しています。※括弧内は対象学年

- ・自己分析講座（1,3年）
- ・進路活動準備講座①～④（4年）
- ・労働に関する講演会（5年）
- ・進学予定者報告会（全学年）
- ・大学・大学院説明会（主に3年以上）

繰り返しになりますが、具体的にどのように活動を進めるかは、「進路参考資料」を読んでもください。4年生の冬に予定されている三者面談で志望先を保護者とともに確認しますので、ご家族で志望先を確認する参考資料としてもご利用ください。

また、図書館にある進路関係の情報誌（業界地図や四季報等）、問題集、参考書を手にとって眺めてください。冊数は学生人数分は揃えられないため、貸出は基本的に行っておりませんが、進路に必要な書籍や参考書の購入時に確認用としてご利用下さい。

【学習支援】

1. 進学支援

受験対策や、進学してから必要な学力をつける目的で次を計画しています（一部実施済み）。

- ・校内数学模試（12月、1～4年）
- ・受験直前数学・英語模試（4月、5年）
- ・数学発展セミナー資料（通年、2年以上）
- ・集中数学セミナー（秋、4年中心）

数少ない授業以外で力試しをできる機会です。是非ご利用下さい。

2. メンター制度

メンティ希望の方は、新規はもちろんのこと継続の場合でも学期ごとに申込書を提出するように。英語・数学は進級するためにも大事な科目です。苦手な方はご利用下さい。

なお、今年度の秋・冬学期のマッチング期間は次の通りです。

秋学期：9月30日（月）～10月15日（火）

冬学期：12月4日（水）～1月20日（月）

実施できる期間・回数を考慮してマッチング期間は設定していますので、メンティ希望の場合は締切厳守で申込書の提出をお願いします。

3. 数学基礎セミナー

1,2年の数学科目の到達度試験で単位取得できなかった学生全員を対象に、補充試験対策として実施します。学期毎に該当する学生が決まりましたら、本人とその保護者にメールでご連絡差し上げます。

課題を全てすることで補充試験の受験資格を得ることができます。

今年度、辞退届を用意してはいますが、特別な事情がなければ受講するように。

各事業は、順次、メールや掲示で詳細をご連絡してまいります。積極的にご利用下さい。



学年学業成績優秀賞、三ヶ年皆勤賞

○令和5年度 学年学業成績優秀賞

| 氏名 | 進級後クラス |
|------------------|------------------|
| 【1年次成績部門】 | |
| 下道 冬雅 | 機械・医工学コース2年 |
| 金田 空悟 | 電気情報工学コース2年 |
| 三浦 美羽 | マテリアル・バイオ工学コース2年 |
| 橋本 崇聖 | 環境都市・建築デザインコース2年 |
| 【2年次成績部門】 | |
| 山田 朝陽 | 機械・医工学コース3年 |
| マイン ド | 電気情報工学コース3年 |
| 上長根 龍斗 | マテリアル・バイオ工学コース3年 |
| 滝川 健伸 | 環境都市・建築デザインコース3年 |
| 【3年次成績部門】 | |
| 福士 涼之真 | 機械・医工学コース4年 |
| 田中海 斗 | 電気情報工学コース4年 |
| 横野 彩音 | マテリアル・バイオ工学コース4年 |
| 天間 大斗 | 環境都市・建築デザインコース4年 |
| 【4年次成績部門】 | |
| イ ト | 機械・医工学コース5年 |
| 夏林 純英 | 電気情報工学コース5年 |
| 柿崎 元徳 | マテリアル・バイオ工学コース5年 |
| 佐々木 大輝 | 環境都市・建築デザインコース5年 |
| 【専攻科成績部門】 | |
| 上平 匠真 | マテリアル・バイオ工学コース2年 |
| 今泉 有人 | 環境都市・建築デザインコース2年 |

○三ヶ年皆勤賞

| 機械・医工学コース | 電気情報工学コース | マテリアル・バイオ工学コース | 環境都市・建築デザインコース |
|-----------|-----------|----------------|----------------|
| 阿部 慎也 | 石倉 康多 | 市島 沙和 | 菊地 悠斗 |
| 伊藤 俊大 | 上田 直徒 | 小笠原 公也 | 佐々木 美月 |
| 梅澤 翔吾 | 大久保 武留 | 上平 大貴 | 笹山 太慎 |
| 太田 雅人 | 小笠原 涼太 | 神 偉晴 | 澤田 拓実 |
| 齋藤 綸 | 加藤 優 | 豊坂 颯斗 | 沼辺 仁 |
| 澤口 豪 | 川口 翔哉 | 萬谷 捷生 | 蛭子 晴喜 |
| 鈴木 裕也 | 川村 健人 | 宮崎 竜門 | 松橋 美月 |
| 須藤 碧 | 関下 哩駆 | セー フ | 宗石 康佑 |
| 高橋 琴羽 | 西村 将 | プ レー ウ | 八木橋 夏響 |
| 附田 理来 | 畑山 遥紀 | | 横山 翔一 |
| 沼辺 大 | 濱 欠 柊馬 | | |
| 福士 涼之真 | 日野口 瑠音 | | |
| 水溜 航麻 | 細川 龍一朗 | | |
| 森 崇真 | 三浦 大清 | | |
| | 山田 楽久 | | |

第61回 東北地区高等専門学校 体育大会結果一覧

団体の部

| 競技開催校 | 競技種目 | 競技会場 | 男子 | 女子 | 競技日程 |
|------------|------------|------------------------------|--------------|------|---|
| 八戸高専 | ラグビーフットボール | 八戸市南郷陸上競技場 | | | 令和6年10月19日(土)、 20日(日)、22日(火) |
| | 卓球 | 八戸市東体育館 | 優勝 | 優勝 | 令和6年7月6日(土)～7日(日) |
| | テニス | 八戸市東運動公園テニスコート | 初戦敗退 | 2位 | 令和6年7月6日(土)～7日(日) |
| 一関高専 | ソフトテニス | 一関運動公園テニスコート | 決勝トーナメント初戦敗退 | - | 令和6年7月6日(土)～7日(日) |
| | 柔道 | 一関武道館 | - | - | 令和6年6月29日(土)～30日(日) |
| 秋田高専 | サッカー | 秋田県立中央公園球技場、運動広場 | 3位 | - | 令和6年7月6日(土)～7日(日) |
| | ハンドボール | 大仙市大曲体育館 | 3位 | - | 令和6年7月6日(土)～7日(日) |
| 鶴岡高専 | 陸上競技 | 鶴岡市小真木原陸上競技場 | 4位 | 4位 | 令和6年7月6日(土) |
| | バレーボール | 鶴岡市小真木原総合体育館 鶴岡市朝陽武道館 | 予選敗退 | 2位 | 令和6年7月6日(土)～7日(日) |
| 仙台高専 広瀬 | 硬式野球 | 名取市民球場(メイン) 松島運動公園野球場(サブ) | 3位 | - | 令和6年7月6日(土)～7日(日) ※雨天順延の場合 8日(月)・9日(火) |
| | バスケットボール | 塩釜ガス体育館 | 3位 | 4位 | 令和6年7月6日(土)～7日(日) |
| 仙台高専 名取 | 剣道 | 本山製作所青葉アリーナ (仙台市青葉体育館) | 6位 | 3位 | 令和6年7月6日(土)～7日(日) |
| 福島高専 | バドミントン | いわき市立総合体育館 | 初戦敗退 | 初戦敗退 | 令和6年7月6日(土)～7日(日) |
| | 水泳競技 | いわき市民プール | 3位 | 3位 | 令和6年7月6日(土)～7日(日) |

※全国大会団体出場競技

| 競技種目 | 全国大会会場 | 全国大会日程 |
|-------|-----------------------------------|----------------------|
| 卓球 男子 | ウインドヒルくしろスーパーアリーナ (湿原の風アリーナ釧路) | 令和6年8月31日(土)～9月1日(日) |
| 卓球 女子 | ウインドヒルくしろスーパーアリーナ (湿原の風アリーナ釧路) | 令和6年8月31日(土)～9月1日(日) |

個人の部

| 競技種目 | 種目名 | クラス | 氏名 | 成績 | 全国大会日程 |
|----------------|-----------------|-----------|---------|--------|--|
| 陸上競技 | 男子 800 m | Z 5 | 齊 下 尊 成 | 決勝 4 位 | 日程：令和6年9月7日（土） ～9月8日（日） （予備日：9月9日（月）） 会場：釧路市民陸上競技場 |
| | 男子 110 mH | L 4/M 1 | 工 藤 優 真 | 決勝 4 位 | |
| | 男子 走高跳 | C 3 | 三 浦 悠 杜 | 決勝 2 位 | |
| | 男子 走高跳 | E 2 | 相 馬 和 空 | 決勝 3 位 | |
| | 男子 走高跳 | L 4/C 1 | 新 堂 勇 海 | 決勝 4 位 | |
| | 男子 三段跳 | L 4/M 1 | 工 藤 優 真 | 決勝 5 位 | |
| | 男子 円盤投 | M 5 | 浅 木 慎之介 | 決勝 1 位 | |
| | 男子 やり投 | M 5 | 浅 木 慎之介 | 決勝 5 位 | |
| | 女子 100 mH | Z 5 | 祐 川 和 奏 | 決勝 1 位 | |
| | 女子 走高跳 | Z 5 | 祐 川 和 奏 | 決勝 2 位 | |
| | 女子 砲丸投 | M 3 | 永 澤 七 明 | 決勝 2 位 | |
| | 女子 砲丸投 | Z 5 | 嶋 守 和 夢 | 決勝 3 位 | |
| | 女子 円盤投 | M 3 | 永 澤 七 明 | 決勝 1 位 | |
| 卓 球 | 男子シングルス | C 4 | 和 田 佳 都 | 優勝 | 日程：令和6年8月31日（土） ～9月1日（日） 会場：ウインドヒルクしろ スーパーアリーナ （湿原の風アリーナ釧路） |
| | | E 5 | 中新井田 登大 | 3 位 | |
| | 男子ダブルス | E 5 | 中新井田 登大 | 優勝 | |
| | | C 4 | 和 田 佳 都 | 2 位 | |
| 女子シングルス | C 4 | 田 中 蒼 空 | 2 位 | | |
| | C 4 | 蜷 名 歩 来 | 優勝 | | |
| 女子ダブルス | C 4 | 田 中 蒼 空 | 優勝 | | |
| | C 4 | 蜷 名 歩 来 | 優勝 | | |
| テ ニ ス | 男子個人戦ダブルス | M 3 | 宮 崎 冬 雅 | 3 位 | - |
| | | M 3 | 向谷地 孝 啓 | 3 位 | |
| | 女子個人戦ダブルス | C 4 | 松 島 里 紗 | 3 位 | |
| 女子個人戦ダブルス | M 4 | 工 藤 柚 季 | 3 位 | | |
| | C 4 | 立 市 崎 彩 芽 | 3 位 | | |
| 剣 道 | 女子個人戦 | Z 2 | 山 本 藍 里 | 3 位 | 日程：令和6年9月7日（土） ～9月8日（日） 会場：リクルートスタッフインダ リック&スー旭川体育館 （旭川市総合体育館） |
| | | | | | |
| 水泳競技 | 男子 400m メドレーリレー | L 4/M 1 | 佐 藤 啓 達 | 2 位 | |
| | | M 2 | 引 木 優 介 | | |
| | | C 4 | 神 偉 晴 | | |
| | 男子 400m フリーリレー | L 3/M 1 | 奈良岡 琉 慧 | 3 位 | |
| | | M 2 | 引 木 優 介 | | |
| | | C 4 | 神 偉 晴 | | |
| | 男子 800m フリーリレー | L 4/M 1 | 佐 藤 啓 達 | 3 位 | |
| | | L 3/M 1 | 奈良岡 琉 慧 | | |
| | | M 2 | 引 木 優 介 | | |
| | 男子 200m バタフライ | C 4 | 神 偉 晴 | 2 位 | |
| | | C 4 | 神 偉 晴 | 3 位 | |
| | 男子 100m バタフライ | C 4 | 神 偉 晴 | 3 位 | |
| | 男子 100m 平泳ぎ | M 2 | 引 木 優 介 | 2 位 | |
| | 男子 200m 平泳ぎ | M 2 | 引 木 優 介 | 2 位 | |
| | 男子 400m 自由形 | M 2 | 遠 山 悠 生 | 4 位 | |
| | 男子 50m 自由形 | L 3/M 1 | 奈良岡 琉 慧 | 2 位 | |
| | 男子 100m 自由形 | L 3/M 1 | 奈良岡 琉 慧 | 2 位 | |
| | 女子 200m メドレーリレー | L 2/M 1 | 小 柴 結 心 | 3 位 | |
| C 3 | | 原 田 実 来 | | | |
| Z 3 | | 浅 田 利 瑩 | | | |
| 女子 200m フリーリレー | L 4/Z 1 | 浅 田 利 瑩 | 3 位 | | |
| | L 2/M 1 | 小 柴 結 心 | | | |
| | C 3 | 原 田 実 来 | | | |
| 女子 100m 背泳ぎ | L 4/Z 1 | 浅 田 利 瑩 | 2 位 | | |
| | Z 3 | 浅 田 利 瑩 | | | |
| | L 2/M 1 | 小 柴 結 心 | | | |
| 女子 100m 個人メドレー | L 2/M 1 | 小 柴 結 心 | 1 位 | | |
| 女子 50m バタフライ | C 3 | 原 田 実 来 | 3 位 | | |

「保護者の声」設置について

保護者と学校の連携を密にし、よりよい教育を推進するため、下記のとおり「保護者の声」を設置しております。

お子さんの就学上のこと、学校に対する要望、ご意見など、無記名で結構ですので、郵便・電話・FAX・e-mail等で随時下記の連絡先までお寄せください。

【連絡先】

八戸工業高等専門学校 総務課総務係
TEL 0178-27-7223 FAX 0178-27-9379
e-mail : somu-o@hachinohe-ct.ac.jp

授業料等の納付について

後期分授業料の口座振替を、10月28日（月）に行います。（就学支援金額未決定者を除く。授業料免除申請者は申請期限により、口座振替されない方と、一旦口座振替される方がいます。口座振替された場合は、決定後に授業料を返金します。）

寮生は、10月～3月の寄宿料及び学寮運営費も併せて振替になります。

金額を確認のうえ、振替日前日までに届出口座にご準備ください。

単位：円

| 授業料 | | 寄宿料 | | 学寮運営費 | | 振替手数料 |
|----------------------|-----------------------|-------|-------|----------------------|-----------------------|-------|
| 1～3年 | 4年～ | 複数室 | 個室 | 一般寮 | 混住型国際寮 | |
| 117,300 | 117,300 ^{※2} | 4,200 | 4,800 | 92,800 ^{※3} | 119,900 ^{※3} | 66 |
| 57,900 ^{※1} | | | | | | |

※1 就学支援金受給対象者の例（加算支給なしの場合）

※2 授業料免除申請者（高等教育の修学支援新制度を含む）は、免除決定額に応じて減額・免除となります。

※3 学寮運営費の金額は変更となる可能性があります。

授業料等を期日（前期分9月、後期分3月）までに納付しない者は、授業料等未納により除籍などの処分になる場合がありますので、ご注意ください。

【問い合わせ先】

総務課財務係 TEL 0178-27-7228

授業料の支援・減免制度について

◆高等学校等就学支援金制度

対象：1～3年生（高校生年齢）

授業料の支援が受けられます。学生等に代わり学校が支援金を受取り授業料に充てる制度です。

◆高等教育の修学支援新制度（日本学生支援機構給付型奨学金）

対象：4年生～専2年生（大学生年齢）

授業料減免と給付型奨学金が受けられる制度です。

◇手続きや募集について

時期になりましたらOutlook、さくら連絡網、学校HPでお知らせしています。

～名前が似ているけど、違う制度～

「高等学校等就学支援金」と「高等教育の修学支援新制度」は異なる制度です。3年生まで支援を受けていたから、自動的に4年生以降も受けられる、というものではないのでご注意ください！高等学校等就学支援金は、支援を受ける・受けないに関わらず全員に手続きを依頼しますが、高等教育の修学支援新制度は、各自申請が必要なのでご注意下さい。

【問い合わせ先】

学生課学生係 TEL 0178-27-7235

令和6年度 公開講座

- (1) **ロケットはなぜ飛ぶか**
日 時：6月29日（土）
対 象：小学生、中学生
- (2) **光と虹と空の科学**
日 時：8月3日（土）
対 象：小学4年生以上、中学生
- (3) **建築模型をつくろう**
日 時：8月24日（土）
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- (4) **マイコンを使ったプログラミング体験**
日 時：9月28日（土）
対 象：小学5年生以上、中学生
- (5) **化学の学校**
日 時：9月28日（土）、10月5日（土）
対 象：青森県内および岩手県北の小中学生
- (6) **メカnoワールド体験塾 Aコース**
日 時：10月5日（土）
対 象：中学生、中学校教員
- (7) **建築を見る**
日 時：10月12日（土）
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- (8) **水の浄化実験**
日 時：10月26日（土）
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- (9) **メカnoワールド体験塾 Bコース**
日 時：11月2日（土）
対 象：中学生、中学校教員
- (10) **ペーパーブリッジをつくろう**
日 時：11月9日（土）
対 象：中学生、保護者、中学校教員
- (11) **こうせん・美術館アートコラボ**
日 時：12月14日（土）
対 象：一般

※参加人数等により、中止または内容等を変更する場合があります。

